

2021 年度 公立千歳科学技術大学 理工学部

一般選抜 公立大学中期日程 解答例

数学

注 下線の部分が解答

1. (1) $(x, y) = (\sqrt{2}, 1), (4, -1)$ (2) $x < \frac{5}{6}, x > \frac{5}{6}$
- (3) $f'(x) = 6x^5 + 60x^4 + 192x^3 + 192x^2$ (4) $z = \sqrt{2} - \sqrt{2}i, -\sqrt{2} + \sqrt{2}i$
- (5) y の最小値 -1 そのときの $x = \pm 1$ (6) ①(c) ②(b) ③(b) ④(a)
- (7) $\frac{11}{192}\pi$ (8) 0

2.

(1) $\cos^2 x \leq 1$ である。

また、 $0 \leq 1 + \cos 3x$ であるから、 $1 \leq 2^{1+\cos 3x}$ である。

よって、 $\cos^2 x \leq 2^{1+\cos 3x}$ が成り立つ。

(2) (1) の過程より、 $\cos^2 x = 2^{1+\cos 3x}$ のとき、 $\cos^2 x = 2^{1+\cos 3x} = 1$ である。

このとき、 $\cos x = \pm 1$ かつ $1 + \cos 3x = 0$ である。

両式を満たす解は、 $x = (2k+1)\pi$ (k は整数) である。

3. $3^n - 1 \geq \frac{n}{2}(n+3)$ …① (n は正の整数) が成り立つことを示す。

$n=1$ のとき、 $3^1 - 1 = 2$ 、 $\frac{1}{2}(1+3) = 2$ であるから①は成り立つ。

$n=k$ のとき、 $3^k - 1 \geq \frac{k}{2}(k+3)$ が成り立つと仮定すると、

$n=k+1$ のとき、

$$\begin{aligned} 3^{k+1} - 1 - \frac{k+1}{2}(k+1+3) &= 3 \cdot 3^k - 1 - \frac{(k+1)(k+4)}{2} \\ &\geq 3 \cdot \left\{ \frac{k}{2}(k+3) + 1 \right\} - 1 - \frac{(k+1)(k+4)}{2} = k^2 + 2k > 0 \end{aligned}$$

となり、 $n=k+1$ のときも①は成り立つ。

よって、数学的帰納法により、すべての正の整数 n について $3^n - 1 \geq \frac{n}{2}(n+3)$ は成り立つ。

4. $C: y = x^3 + 3x^2$ について $y' = 3x^2 + 6x$ である。曲線 C 上の点 $(t, t^3 + 3t^2)$ における C の接線の方程式は、 $y - (t^3 + 3t^2) = (3t^2 + 6t)(x - t)$ であるから $y = (3t^2 + 6t)x - 2t^3 - 3t^2$ となる。この接線が点 $A(2, a)$ を通るとき、 $a = (3t^2 + 6t) \times 2 - 2t^3 - 3t^2$ となる。これを整理して $a = -2t^3 + 3t^2 + 12t \cdots \textcircled{1}$ を得る。

方程式①を満たす実数 t の個数と、点 A から曲線 C に引くことができる接線の本数は等しい。

$$f(t) = -2t^3 + 3t^2 + 12t \text{ とおくと } f'(t) = -6t^2 + 6t + 12 = -6(t+1)(t-2),$$

$$f(-1) = 2 + 3 - 12 = -7, \quad f(2) = -16 + 12 + 24 = 20$$

であるから、 $f(t)$ の増減表は次のようになる。

t	\cdots	-1	\cdots	2	\cdots
$f'(t)$	$-$	0	$+$	0	$-$
$f(t)$	\searrow	-7	\nearrow	20	\searrow

以上から、求める a の範囲は $-7 < a < 20$ 。

5. (1) $a_1 > 0$ であり、 $a_k > 0$ とすれば式の形より $a_{k+1} > 0$ であることがわかるので、すべての n について $a_n > 0$ である。

$$a_{n+1} = \frac{a_n}{12na_n + 3} \Leftrightarrow \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{12na_n + 3}{a_n} = \frac{3}{a_n} + 12n$$

であるから、 $b_n = \frac{1}{a_n}$ とすれば、 $b_{n+1} = 3b_n + 12n$ を得る。

- (2) $b_{n+1} = 3b_n + 12n \cdots \textcircled{1}$ において、 n を $n+1$ とおくと、 $b_{n+2} = 3b_{n+1} + 12(n+1) \cdots \textcircled{2}$

$$\textcircled{2} - \textcircled{1} \text{ より } b_{n+2} - b_{n+1} = 3(b_{n+1} - b_n) + 12$$

$$c_n = b_{n+1} - b_n \text{ なので、 } c_{n+1} = 3c_n + 12 \Leftrightarrow c_{n+1} + 6 = 3(c_n + 6) \text{ となる。}$$

よって、数列 $\{c_n + 6\}$ は公比 3 の等比数列である。

$$\text{また、 } a_1 = 1, \quad b_1 = \frac{1}{a_1} = 1, \quad a_2 = \frac{1}{15}, \quad b_2 = \frac{1}{a_2} = 15 \text{ である。}$$

よって、 $c_1 = 15 - 1 = 14$ である。

以上より、 $c_n = 3^{n-1}(c_1 + 6) - 6 = \underline{20 \cdot 3^{n-1} - 6}$ である。

- (3) 数列 $\{c_n\}$ は数列 $\{b_n\}$ の階差数列なので、 $n \geq 2$ のとき、

$$\begin{aligned} b_n &= b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (20 \cdot 3^{k-1} - 6) = 1 + 20 \times \frac{3^{n-1} - 1}{3-1} - 6(n-1) \\ &= 10 \cdot 3^{n-1} - 6n - 3 \end{aligned}$$

$n=1$ とすると、 $10 - 6 - 3 = 1$ となり、 b_1 と一致するので、

$$\underline{b_n = 10 \cdot 3^{n-1} - 6n - 3} \quad (n \geq 1) \text{ および } \underline{a_n = \frac{1}{10 \cdot 3^{n-1} - 6n - 3}} \quad (n \geq 1) \text{ である。}$$